

2026 年度

岩手医科大学附属病院 高度看護研修センター

特定行為教育課程

募 集 要 項

(在宅・外科・麻酔パッケージ、選択コース)



I. 特定行為教育課程の概要

1. 特定行為研修について

「特定行為」とは、診療の補助であって、看護師が手順書により行う場合には、実践的な理解力、思考力及び判断力並びに高度かつ専門的な知識及び技能が特に必要とされるものとして厚生労働省省令で定められるものをいいます。当院は、2015年3月13日「保健師助産師看護師法第37条の2第2項第1号に規定する特定行為及び同項第4号に規定する特定行為研修に関する省令」（厚生労働省省令33号）の公布を受けて、2015年10月1日付で特定行為研修指定研修機関として指定されました。さまざまな領域で手順書に則り特定行為を実践し、看護の専門性を高め役割モデルとなる看護師を育成しています。

2. 開講区分について

2021年度から、外科術後病棟管理領域パッケージ（以下「外科パッケージ」という）及び在宅・慢性期領域パッケージ（以下「在宅パッケージ」という）を開講しました。現在、術中麻酔管理領域パッケージ（以下、「麻酔パッケージ」という）と選択コース（選択コースの組み合わせによるモデルコースとして「病棟基本管理コース」）について、厚生労働省に申請中です。

3. 教育理念

特定行為研修は、チーム医療のキーパーソンである看護師が、患者・国民や医師・歯科医師その他の医療スタッフから期待される役割を十分に担うため、医療安全に配慮し、在宅を含む医療現場において、高度な臨床実践能力を発揮し、自己研鑽を継続する基盤を構築することのできる看護師を育成する。

4. 教育目的

1. 地域医療及び高度医療の現場において、迅速かつ包括的なアセスメントを行い、特定行為を行う上での知識、技術及び態度の基礎的能力を養う。
2. 地域医療及び高度医療の現場において、患者の安全に配慮しつつ、特定行為を実践できる基礎的能力を養う。
3. 地域医療及び高度医療の現場において、問題解決にむけてチーム医療の中心的な役割を果たし、多職種と効果的に協働できる能力を養う。特定行為を行う看護師として、実践的な理解力、思考力及び判断力並びに高度かつ専門的な知識・技能・態度を身につける。

5. 募集人数

外科パッケージ	2名
在宅パッケージ	3名
麻酔パッケージ	2名
選択コース	6名（モデルコースとしての病棟基本管理を含む）

6. 履修行為区分

在宅パッケージ (4 区分 4 行為)	呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連 ・気管カニューレの交換
	ろう孔管理関連 ・胃ろうカテーテル若しくは腸ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換
	創傷管理関連 ・褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去
	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連 ・脱水症状に対する輸液による補正
外科パッケージ (12 区分 15 行為)	呼吸器(気道確保に係るもの) 関連 ・経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整
	呼吸器（人工呼吸療法に係るもの） 関連 ・侵襲的陽圧換気の設定の変更 ・非侵襲的陽圧換気の設定の変更
	呼吸器（長期呼吸療法に係るもの） 関連 ・気管カニューレの交換
	胸腔ドレーン管理関連 ・低圧胸腔内持続吸引器の吸引圧の設定及びその変更 ・胸腔ドレーンの抜去
	腹腔ドレーン管理関連 ・腹腔ドレーンの抜去
	栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理） 関連 ・中心静脈カテーテルの抜去
	栄養に係るカテーテル管理（末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理） 関連 ・末梢留置型中心静脈注射用カテーテルの挿入
	創部ドレーン管理関連 ・創部ドレーンの抜去
	動脈血液ガス分析関連 ・直接動脈穿刺法による採血
	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連 ・持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整
	術後疼痛管理関連 ・硬膜外カテーテルによる鎮痛剤の投与及び投与量の調整
	循環動態に係る薬剤投与関連 ・持続点滴中のカテコラミンの投与量の調整 ・持続点滴中の糖質輸液又は電解質輸液の投与量の調整
麻酔パッケージ (6 区分 8 行為) (申請中)	呼吸器(気道確保に係るもの) 関連 ・経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整
	呼吸器（人工呼吸療法に係るもの） 関連 ・侵襲的陽圧換気の設定の変更 ・人工呼吸器からの離脱
	動脈血液ガス分析関連 ・直接動脈穿刺法による採血 ・橈骨動脈ラインの確保
	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連 ・脱水症状に対する輸液による補正

	術後疼痛管理関連 ・硬膜外カテーテルによる鎮痛剤の投与及び投与量の調整
	循環動態に係る薬剤投与関連 ・持続点滴中の糖質輸液又は電解質輸液の投与量の調整
選択コース (【選択】の分野から 単独あるいは複数の 分野を選択可能)	【必修】栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連
	【選択】呼吸器（気道確保に係るもの）関連
	【選択】呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連
	【選択】呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連
	【選択】腹腔ドレーン管理関連（申請中）
	【選択】ろう孔管理関連
	【選択】栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連（申請中）
	【選択】栄養に係るカテーテル管理（末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理）関連（申請中）
	【選択】創傷管理関連
	【選択】創部ドレーン管理関連
	【選択】動脈血液ガス分析関連

◎選択コースの中から以下の4区分を選択した場合は、「病棟基本管理コース」とします。

【選択】腹腔ドレーン管理関連（申請中）

【選択】栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連（申請中）

【選択】栄養に係るカテーテル管理（末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理）関連（申請中）

【選択】創部ドレーン管理関連

7. 教科目と時間数

【在宅パッケージ】

科目名		時間数 (科目毎)	時間数 (合計)
共通科目	臨床病態生理学	30	252
	臨床推論	45	
	フィジカルアセスメント	47	
	臨床薬理学	45	
	疾病・臨床病態概論	40	
	医療安全学	45	
	特定行為実践		
区分別科目	呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連 ・気管カニューレの交換	21	121
	ろう孔管理関連 ・胃ろうカテーテル若しくは腸ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換	29	
	創傷管理関連 ・褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去	45	
	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連 ・脱水症状に対する輸液による補正	23	
	試験	3	
	臨地実習	1ヶ月程度	

【外科パッケージ】

科目名		時間数 (科目毎)	時間数 (合計)
共通科目	臨床病態生理学	30	252
	臨床推論	45	
	フィジカルアセスメント	47	
	臨床薬理学	45	
	疾病・臨床病態概論	40	
	医療安全学	45	
	特定行為実践		
区分別科目	呼吸器(気道確保に係るもの)関連 ・経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整	21	297
	呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連 ・侵襲的陽圧換気の設定の変更 ・非侵襲的陽圧換気の設定の変更	39	
	呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連 ・気管カニューレの交換	21	
	胸腔ドレーン管理関連 ・低圧胸腔内持続吸引器の吸引圧の設定及びその変更 ・胸腔ドレーンの抜去	36	
	腹腔ドレーン管理関連 ・腹腔ドレーンの抜去	19	
	栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連 ・中心静脈カテーテルの抜去	18	

	栄養に係るカテーテル管理（末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理）関連 ・末梢留置型中心静脈注射用カテーテルの挿入	23	
	創部ドレーン管理関連 ・創部ドレーンの抜去	16	
	動脈血液ガス分析関連 ・直接動脈穿刺法による採血	21	
	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連 ・持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整	23	
	術後疼痛管理関連 ・硬膜外カテーテルによる鎮痛剤の投与及び投与量の調整	18	
	循環動態に係る薬剤投与関連 ・持続点滴中のカテコラミンの投与量の調整 ・持続点滴中の糖質輸液又は電解質輸液の投与量の調整	36	
	科目試験	6	
	臨地実習	2ヶ月程度	

【麻酔パッケージ】（申請中）

科目名		時間数 (科目毎)	時間数 (合計)
共通科目	臨床病態生理学	30	252
	臨床推論	45	
	フィジカルアセスメント	47	
	臨床薬理学	45	
	疾病・臨床病態概論	40	
	医療安全学	45	
	特定行為実践		
区分別科目	呼吸器(気道確保に係るもの)関連 ・経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整	21	164
	呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連 ・侵襲的陽圧換気の設定の変更 ・人工呼吸器からの離脱	39	
	動脈血液ガス分析関連 ・直接動脈穿刺法による採血 ・橈骨動脈ラインの確保	37	
	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連 ・脱水症状に対する輸液による補正	23	
	術後疼痛管理関連 ・硬膜外カテーテルによる鎮痛剤の投与及び投与量の調整	18	
	循環動態に係る薬剤投与関連 ・持続点滴中の糖質輸液又は電解質輸液の投与量の調整	22	
	科目試験	4	
	臨地実習	2ヶ月程度	

【選択コース】

科目名		時間数 (科目毎)	時間数 (合計)
共通科目	臨床病態生理学	30	252
	臨床推論	45	
	フィジカルアセスメント	47	
	臨床薬理学	45	
	疾病・臨床病態概論	40	
	医療安全学	45	
	特定行為実践		
区分別科目	【必修】栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	41	【必修 41】 ＋ 【選択区分】の 各時間数 (試験時間 を含む)
	【選択】呼吸器（気道確保に係るもの）関連	22	
	【選択】呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	74	
	【選択】腹腔ドレーン管理関連（申請中）	20	
	【選択】呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連	22	
	【選択】栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連（申請中）	19	
	【選択】栄養に係るカテーテル管理（末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理）関連（申請中）	24	
	【選択】ろう孔管理関連	48	
	【選択】創傷管理関連	71	
	【選択】創部ドレーン管理関連	17	
	【選択】動脈血液ガス分析関連	38	
	臨地実習	区分に応じて 1～2ヶ月程度	
	試験	区分に応じて 1～2程度	

※共通科目 252 時間のうち、192 時間は e ラーニングでの受講になります。

月 2～7 日程度の集合研修を実施します。区分別科目については、講義分は e ラーニング、演習・実習は集合研修となります（区分により時間数が異なります）。

8. 実施日程

2026 年 4 月上旬	開講式・ガイダンス
2026 年 4 月～7 月	共通科目(e ラーニング、演習)
2026 年 8 月～10 月	区分別科目(e ラーニング、演習、実習)
2026 年 10 月中旬～2027 年 1 月下旬	臨地実習
2027 年 3 月下旬	修了式

9. 実習施設

1) 自施設

※原則、受講生の所属施設での実習（自施設実習）です。そのため、受験にあたっては、自施設実習の進め方を、所属施設の看護管理者と検討して下さい。

（自施設実習の目的）

- 受講生が指導医から継続して指導を受けることができ、特定行為研修修了後の円滑な実践に移行することを目的としている。

（自施設実習により得られる効果）

- 受講生の所属施設によって求められる特定行為の内容が異なるため、受講者は自施設の状況に合わせた手順書を作成することが可能になる。
- 受講生の所属施設においても、実習を通して、安全な活動基盤を整えることに繋がる。

2) 指定研修機関である岩手医科大学附属病院

協力施設：医療法人友愛会 盛岡友愛病院

医療法人葵会 もりおか往診ホームケアクリニック

特定医療法人 盛岡つなぎ温泉病院

※自施設実習を実施できない場合には、別途、実習費が発生いたします。

※実習施設（自施設）には、高度看護研修センターの特定行為連携協力施設として、連携協力体制（指導者、医療安全管理、緊急時の対応、患者への同意説明体制、該当症例数の確保等の要件を満たす体制等）に関する書類を作成していただきます。書類は、開講式後に高度看護研修センターに提出していただき（2026年5月頃）、東北厚生局へ提出します。

自施設実習の要件

- （1）継続した指導者の指導のもと安全に活動する施設基盤があり、協力施設として厚生労働省に届け出し認可された施設。
- （2）指導に当たる者は、特定行為研修を受けている看護師に対する指導を行うために必要な以下の経験および能力を有する。
 - 医師の指導者は、臨床研修指導医と同等以上の経験を有すること。
 - 看護師の指導者は、特定行為研修を修了した者又はこれに準ずる者であること。
 - 指導者の医師又は看護師は、特定行為研修の指導者講習会を受講していることが望ましい。
- （3）安全管理のための体制を確保していること。
 - 実習に係る医療に関する安全管理のための組織を設置していること（実習を行う施設の管理者および関係各部門の責任者等による構成とし、指導医を含む）。
 - 実習に係る緊急時の対応に係る手順」を記載した文書を作成していること。
 - 実習に係る患者からの苦情や相談に対応できる体制を確保すること。
- （4）実施する特定行為が、実習期間中に5例以上確保できること。
- （5）実習としての環境が整備されること（就業とは区別できること）。

II. 受験相談会

オンラインによる受験相談会を実施します。受験を希望される方は、ホームページを確認してください。

Ⅲ. 応募要項

1. 応募期間

2025 年 7 月 22 日（火）～ 8 月 18 日（月）※消印有効

2. 出願資格

受講申請にあたっては、次に定める要件を満たしていること。

- 日本国の看護師免許を有する者
- 5年以上の実務経験を有する看護師
- 所属長（看護部長あるいは同等職位の所属長）の推薦を有する者

3. 出願書類

出願書類（様式 1～12）は以下のホームページよりダウンロードして下さい。

（URL）<https://www.hosp.iwate-med.ac.jp/ant/>

書類名		様式	5年以上の実務経験を有する看護師	認定看護師資格のみを有する看護師	※特定行為研修修了者
（1）受講申請書		様式 1	●	●	●
（2）履歴書		様式 2	●	●	●
（3）受講申請許可書(受講同意書)		様式 3	●	●	●
（4）推薦書		様式 4	●	●	●
（5）	実践活動報告書	様式 5-1-①		●	
	実践活動報告書（特定行為研修修了看護師）	様式 5-1-②			●
	認定看護師としての実践報告	様式 5-2-①		●	
	特定行為研修修了看護師としての実践報告	様式 5-2-②			●
（6）実務研修報告書		様式 6	●		
（7）勤務証明書		様式 7	●	●	●
（8）事例報告 1		様式 8	●		
（9）事例報告 2		様式 9	●		
（10）受験票		様式 10	●	●	●
（11）検定料納付票		様式 11	●	●	●
（12）既修得科目履修免除及び授業料減免申請書		様式 12			※1●
（13）看護師免許証（写し） 1 部			●	●	●
（14）公益社団法人日本看護協会 認定看護師認定証（写し） 1 部				●	※2●
（15）特定行為研修修了証（写し） 1 部					●
（16）レターバックライト 1 通（受験票返信用） （レターバックライトに返信先の郵便番号、住所、氏名、電話番号を記入すること。）			●	●	●

※特定行為研修修了者：認定看護師の資格を持ち特定行為研修を修了した看護師（B 課程含む）

又は、特定行為研修のみ修了している看護師

※1●：履修免除を希望する方

※2●：認定看護師の資格を持っている場合は、認定看護師認定証も提出して下さい。

4. 検定料

22,000 円（税込） 内訳）検定料 20,000 円＋消費税 2,000 円

納入済みの検定料は、原則として返還いたしません。

応募期間内（2025 年 7 月 22 日（火）～8 月 18 日（月））に下記に振込んでください。

《振込先》

岩手銀行 本町支店 普通預金 口座番号：2039440

ガッコウホウジン イワテイ カダイガク

振込名義：学校法人 岩手医科大学

お振込みの際、ご依頼人氏名の前に『特定』を入れて下さい。

振込用紙の控え（取扱銀行出納印があるもの）もしくは、ご利用明細の写しを検定料納付票（様式 11）に貼付して下さい。

5. 出願方法

封筒の表に、「特定行為研修受講申請書類 在中」と朱書で明記し、レターパックライトで以下の送付先へ郵送して下さい。

《出願書類送付先》

〒028-3695 岩手県紫波郡矢巾町医大通二丁目 1 番 1 号

岩手医科大学附属病院 高度看護研修センター 特定行為教育課程 宛

6. 受験票の発行

出願書類一式を審査し、受験が認められた方には、受験票を郵送します。受験票が届かない方は、高度看護研修センター（019-613-7111（内線 6160））までご連絡下さい。受験票は、必ず受験時に携帯して下さい。

7. 個人情報の利用目的

受講申請書類により取得した個人情報は厳重に管理され、受講選考業務のために利用し、それ以外の目的に利用することはありません。

8. 履修免除について

既に特定行為研修を修了した看護師で、所定の手続きを経て本教育課程が認めた場合には、教育課程の一部を履修したものとみなし、当該科目の授業料を免除します。

履修免除の対象は、特定行為研修の「共通科目」及び「栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連」のみとなります。履修免除を希望する方は、様式 12 に記入し出願書類一式に同封して下さい。

IV. 受講選考

1. 選抜試験実施日・内容等

試験実施日	会場	時間	試験内容
2025 年 9 月 17 日（水）	岩手医科大学 矢巾キャンパス	9：00～10：00	小論文
	〒028-3694 岩手県紫波郡矢巾町医大通 1-1-1	10：15～	面接

2. 合格発表と選抜試験結果の通知

1) 選考方法

選考は、選抜試験の総合点を特定行為研修管理委員会に諮り選定します。

2) 合格発表日 2025 年 10 月 10 日（金）

3) 選抜試験結果の通知

選考結果は本人宛に郵送で通知します。また、岩手医科大学附属病院高度看護研修センターホームページに合格者の受験番号を掲載します。電話や FAX での合否の問い合わせは受け付けません。（URL）<https://www.hosp.iwate-med.ac.jp/ant/>

V. 受講手続等

選考結果通知時に受講手続き内容をご案内します。

1. 受講料

- 在宅パッケージ 605,000 円（税込） 内訳）受講料 550,000 円＋消費税 55,000 円
- 外科パッケージ 990,000 円（税込） 内訳）受講料 900,000 円＋消費税 90,000 円
- 麻酔パッケージ（申請中）715,000 円（税込）内訳）受講料 650,000 円＋消費税 65,000 円
- 選択コース 共通科目、区分別必修科目（栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連）、区分別選択科目の受講料の合計です。以下の表をご参照ください。

科目	区分別科目（行為）	（受講料）
共通科目	—	440,000 円（税込） （受講料 400,000 円、消費税 40,000 円）
区分別科目 （必修）	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連 ・持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整 ・脱水症状に対する輸液による補正	88,000 円（税込） （受講料 80,000 円、消費税 8,000 円）
区分別科目 （選択）	呼吸器（気道確保に係るもの）関連 ・経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整	44,000 円（税込） （受講料 40,000 円、消費税 4,000 円）
	呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連 ・侵襲的陽圧換気の設定の変更 ・非侵襲的陽圧換気の設定の変更 ・人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静薬の投与量の調整 ・人工呼吸器からの離脱	143,000 円（税込） （受講料 130,000 円、消費税 13,000 円）
	呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連 ・気管カニューレの交換	44,000 円（税込） （受講料 40,000 円、消費税 4,000 円）
	腹腔ドレーン管理関連（申請中） ・腹腔ドレーンの抜去	44,000 円（税込） （受講料 40,000 円、消費税 4,000 円）
	ろう孔管理関連 ・胃ろうカテーテル若しくは腸ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換 ・膀胱ろうカテーテルの交換	88,000 円（税込） （受講料 80,000 円、消費税 8,000 円）
	栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連（申請中） ・中心静脈カテーテルの抜去	38,500 円（税込） （受講料 35,000 円、消費税 3,500 円）
	栄養に係るカテーテル管理（末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理）関連（申請中） ・末梢留置型中心静脈注射用カテーテルの挿入	44,000 円（税込） （受講料 40,000 円、消費税 4,000 円）
	創傷管理関連 ・褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去 ・創傷に対する陰圧閉鎖療法	121,000 円（税込） （受講料 110,000 円、消費税 11,000 円）
	創部ドレーン管理関連 ・創部ドレーンの抜去	38,500 円（税込） （受講料 35,000 円、消費税 3,500 円）
	動脈血液ガス分析関連 ・直接動脈穿刺法による採血 ・橈骨動脈ラインの確保	77,000 円（税込） （受講料 70,000 円、消費税 7,000 円）

- 例)・「呼吸器(長期呼吸療法に係るもの)関連」と「創傷管理関連」を選択した場合
共通科目 440,000 円+必修 88,000 円+呼吸器(長期呼吸療法に係るもの)関連 44,000 円+
創傷管理関連 121,000 円=693,000 円(税込)
- ・病棟基本管理コースの場合の場合
共通科目 440,000 円+必修 88,000 円+腹腔ドレーン管理関連 (申請中) 44,000 円+
栄養に係るカテーテル管理 (中心静脈カテーテル管理) 関連 (申請中) 38,500 円+
栄養に係るカテーテル管理 (末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理) 関連 (申請中)
44,000 円+創部ドレーン管理関連 38,500 円=693,000 円(税込)

2. 備考

- 1) 講義・実習中の交通費・宿泊費等は自己負担になります。
- 2) 自施設で特定行為臨地実習を実施できない場合には、別途、実習費が発生いたします。
- 3) 納付金は、原則として一括納入です。
- 4) 既納の授業料等は原則として返還いたしません。但し、特別の事情があると認められる場合は、納付を行った授業料の一部を返還することができます。

VI. 補助金等

岩手県の医療機関若しくは、訪問看護ステーション等の施設が本研修に、看護師を派遣した場合は、岩手県より以下の補助金の交付を受けられる場合があります。詳しくは、岩手県保健福祉部医療政策室までご確認ください。

- 補助事業名 認定看護師等育成支援事業費補助金
- 補助対象経費 入学金、受講料、その他教材費 (補助事業者である派遣元病院等が負担した場合)
- 補助上限額 700,000 円

VII. 問い合わせ先

岩手医科大学附属病院 高度看護研修センター

(URL) <https://www.hosp.iwate-med.ac.jp/ant/>

〒028-3695 岩手県紫波郡矢巾町医大通二丁目 1 番 1 号

MAIL : koudokango@j.iwate-med.ac.jp

TEL : 019-613-7111 (代表) 内線 6162